

SPA9000 の PSTN ゲートウェイとしての SPA3000 のセットアップ

目次

[概要](#)

[すべてのコールを自動応答に転送し、SPA9000 に登録されているすべての電話機が POTS で発信するように、SPA3000 を SPA9000 の PSTN ゲートウェイとして設定するにはどうすればよいですか。](#)

[関連情報](#)

概要

この記事は、Cisco Small Business 製品のセットアップ、トラブルシューティング、およびメンテナンスを支援する一連のドキュメントの 1 つです。

[Q. すべてのコールを自動応答に転送し、SPA9000 に登録されているすべての電話機が POTS で発信するように、SPA3000 を SPA9000 の PSTN ゲートウェイとして設定するにはどうすればよいですか。](#)

A.

POTS からのコールは自動応答へ自動的に移動でき、SPA9000 に登録されているすべての電話機は、POTS から SPA3000 の PSTN 回線 (103) でユーザ ID をダイヤルして発信できます。

注: この記事では次のことを前提としています。 インターネット -----SPA9000 (FXS 1 上のアナログ電話機-----SWITCH-----SPA IP 電話および SPA-3000 (FXO ポートに接続した PSTN 回線) 。

ステップ 1 :

SPA9000 の回線 1 を VoIP に登録します (オプション) 。 SPA9000 の Web ベース セットアップ ページにアクセスし、[Admin Login] をクリックし、次に [advanced] をクリックします。

ステップ 2 :

[Voice] をクリックし、次に [Line 1] をクリックします。下にスクロールし、[Subscriber Information] の下の [User ID] フィールドと [Password] フィールドに必要な情報を入力します。[Proxy and Registration] の [Proxy] に、VOIP プロバイダから提供される必須プロキシ値を入力します。下にスクロールして をクリックし、設定を保存します。

ステップ 3 :

[Line 2] をクリックし、SPA9000 の [Line 2] の [User-ID] (例 : 103) を設定し、[Submit All Changes] をクリックします。

ステップ 4 :

SPA3000 の Web ベース セットアップ ページにアクセスします。 [Admin Login] をクリックし、次に [advanced] をクリックします。

ステップ 5 :

[PSTN Line] をクリックします。

ステップ 6 :

下にスクロールし、[Proxy and Registration] で SPA3000 の PSTN 回線を SPA9000 に手動で登録します。

[Proxy] : 192.168.0.1:6060 (SPA9000 プロキシ ネットワーク インターフェイスは LAN に設定されます)

[User-ID] : 102 (例)

ステップ 7 :

下にスクロールし、[FXO Timer Values (sec)] の [PSTN Ring Thru CWT Delay] フィールドと [PSTN Answer Delay] フィールドに「0」と入力します。

ステップ 8 :

[PSTN-To-VoIP Gateway Setup] の [PSTN Ring Thru Line 1] のドロップダウン メニューから [No] を選択します。 [PSTN Caller Default DP] フィールドに「2」と入力します。

ステップ 9 :

上にスクロールし、[Dial Plans] の [Dial Plan 2] フィールドに「(S0<:103>)」と入力します。 [Submit All Changes] をクリックして、設定を保存します。

ステップ 10 :

をクリックします。 .

[関連情報](#)

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)